

防地西（事）第165号
令和7年3月31日

呉市長 新原 芳明 殿
呉市議会議長 中田 光政 殿

防衛事務次官
増田 和夫
(公印省略)

防衛省による多機能な複合防衛拠点の整備検討に当たっての要望について（回答）

日頃から、防衛施設行政に御理解と御協力いただき感謝申し上げます。

さて、去る令和6年7月3日、呉市長及び呉市議会議長から、防衛大臣宛てに御要望いただきました標記要望の7項目について、別紙のとおり回答します。

つきましては、防衛省による多機能な複合防衛拠点の整備について、呉市及び呉市議会の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1 産業機能

ゾーニングにおいては、民間企業誘致のエリアを確保し、防衛生産・技術基盤を担う企業を誘致するとともに、防衛装備庁研究関連施設を整備し、誘致企業など民間での活用を視野に、スタートアップを含めた先進的な研究の実施を検討していく考えです。

これらが実現した場合には、新規雇用の創出や企業誘致による新たな地元企業との取引が生まれるなど、地元経済にも貢献できるものと考えています。

また、防衛省が発注する建設工事については、工事種別の分離又は工事範囲を分割するなど、競争性を確保した上で、適切な発注規模を設定し、地元企業の受注機会の確保に努めており、新たな施設整備等の発注等に当たっても、引き続き努力してまいります。

2 安全と環境への配慮

防衛力整備計画に基づき全国で火薬庫を整備等する必要がある中、ゾーニングの検討過程において、多機能な複合防衛拠点における火薬庫の整備の必要性についても検討した結果、「部隊の活動基盤」の機能の一つとして必要であるとの判断に至りました。

複合防衛拠点に整備する火薬庫の規模については、既存の大麗女弾薬庫を最大限活用すべく、大麗女島における火薬庫整備の可否を調査検討していたところ、同島に新たな火薬庫と栈橋等を整備することにより、火薬庫の整備面積は必要最小限に抑え、建屋の数も数棟程度となる見込みです。また保安距離は全て敷地内に収まるように配置することとしています。

なお、これまで御説明してきたとおり、多機能な複合防衛拠点においては、火薬庫は主たる目的となる施設ではございません。

また、施設の整備及び運用に当たっては、関係法令に基づき、地元の皆様の生活に与える影響に十分留意しつつ、安全確保に万全を期していく考えです。

3 防災機能

ゾーニングにおいては、防災拠点エリアを確保し、災害救援物資の保管や物資の集積場、ヘリコプターが離発着するヘリポートの整備を検討し、広域的な防災にも寄与できるようにしていく考えです。

4 自衛隊員等の増加

ゾーニングにおいては、庁舎等のエリアを確保し、自衛隊員が勤務する庁舎や営内者の生活の場となる隊舎などを整備することから、当該地区への新たな自衛隊員の配置が見込まれます。

また、民間企業誘致エリアを確保し、実際に民間企業を誘致することにより、その雇用の面でも貢献できるものと考えています。

なお、将来的な岸壁等の利用拡大の可能性を踏まえれば、自衛隊員等の増加も見込まれるところです。

5 市民利用

ゾーニングにおいては、自衛隊員向けの運動場エリアを確保し、ソフトボールなどが可能な屋外運動施設のほか、体育館を整備することとしています。また、これらについては、市民の皆様にも活用していただけるようにしていく考えです。

6 研究機関の設置

ゾーニングにおいては、民間企業誘致のエリアに防衛装備庁研究関連施設を整備し、誘致企業など民間での活用を視野に、スタートアップを含めた先進的な研究の実施を検討していく考えです。

7 海上自衛隊呉教育隊の移転

ゾーニングにおいては、防災拠点、民間企業の誘致や市民の皆様にも開放された運動場の整備を含む多機能な複合防衛拠点の整備を目指して作業を行ってまいりました。

他方、海上自衛隊呉教育隊の敷地は約10haにも及び、これを日鉄跡地に移すことにより複合防衛拠点の整備に影響が生じることに加え、現在よりも利便性が損なわれ、新隊員の募集にも影響が生じると考えています。

いずれにせよ、引き続き、地元の御意見には耳を傾けてまいります。

以 上